

幅広い分野の現場で活躍できる 管理栄養士を育てる



PROFILE

田上 敬子 教授
Noriko Tagami

健康栄養学部 管理栄養学科

宮崎市生まれ。共立女子大学家政学部食物学科卒。1967年宮崎県庁入庁。2004年南九州大学に赴任。2008年管理栄養学科長就任。

**県庁職員から大学の先生に
転身されたそうですね**

県職員として長年にわたり、保健所などの現場で県民の皆さんの健康支援や、市町村支援などの仕事に携わってきました。栄養教育といっても、すべての人に一概にこうしなさいと言えるものではなく、一人一人の生活習慣や食生活に合わせて、きめ細かいアドバイスをしなければなりません。アドバイスだけではなく、その後どのように改善されたかどうかまでをチェックすることも大切です。このように、現場で多くの人に接してきた経験が現在の仕事にとっても役に立っていると思います。県職員から大学の教員への転身については悩みましたが、これまで自身が学んできたことを、これから現場に出て行く学生たちに伝えていくという役割が私に与えられたのだと考え、赴任することにしました。

**管理栄養学科では、
どんな分野を
教えているのですか？**

講義では「栄養教育論」を通して、人の栄養に関わる課題は教育や経済、環境、生き方などすべてに関係があるので、相手を理解することから始めることが大切であると教えています。

以前は栄養指導と言うと、一人一人の食生活の課題を見つけて、それを改善するための知識を与えることが主でしたが、現在は指導ではなく教育へと変わりました。カウンセリングや行動療法など、栄養学だけでなく、心理学など幅広い知識を身に付けて対象者を支援するという考えに変わりました。ただ単に知識を伝えるだけでなく、信頼関係を築く方法など事例を通して教えています。

最近「食育」という言葉も定着しつつありますが、朝食はちゃんと食べるとか残さず食べるとか基本的なことは、やはり家庭や保育所、学校、地域で小さいうちからしっかり教えたいですね。子供の頃から食の体験を豊かにして、生活習慣病にならないためにはどうしたらよいかということが自然に身に付くように教えることが大切だと思います。

学生たちには、実際の現場では健康に関心のある人よりもむしろ関心のない、あるいは仕事や子育てで時間を取られ指導の場にも出てこれない人々への指導をどう

するかが問題であることを伝えていきます。いわゆる思春期から40歳代までの食育空白の世代と言われる人々ですが、食環境を整えることでその世代の人を動かす方法はないかを考えています。今、子供から親へメッセージを伝えることで関心を持たせる試みを行っています。

**学生たちにメッセージを
お願いします**

現在研究室には7名の4年生が所属しています。国家資格である管理栄養士を目指して頑張っています。みんなとても明るく、楽しむときは楽しむ、勉強するときは集中してやるなどメリハリがはつきりしていて、団結力もあるので、今年度の国家試験が楽しみです。本管理栄養学科の2回の合格率は79%、83%でしたが今度こそ100%を目指します。みんな管理栄養士になりたくてこの大学に来たのですから、夢をかなえてあげたいとどの先生も自分が受験するようないい気持ちで国家試験対策に取り組んでいます。もし方が一試験に落ちた場合でも、再チャレンジする人にも講座や模擬試験への参加を開放しています。管理栄養士になりたいと考えている人はぜひここに来てほしいと思っています。

ゼミ学生に
聞いて
みました。

田上先生の魅力

川野 梨花さん
健康栄養学部
管理栄養学科4年
(宮崎・妻高校出身)

西村 果菜さん
健康栄養学部
管理栄養学科4年
(宮崎・宮崎北高校出身)

居心地満点の研究室は 先生のおかげ

この研究室の冷蔵庫やコンロも、「いい環境で研究ができるように」と先生が揃えてくれたんです。本当に居心地のいい研究室で、勉強もはかどります。また、先生も遅くまで仕事をしていらっしゃるの、その姿を見て私たちが頑張ろうと意欲がわきます。

福島 彩乃さん
健康栄養学部管理栄養学科4年
(宮崎・宮崎北高校出身)



体験に基づく授業が 分かりやすい

授業では、体験談を話してくださるので、分かりやすいし、とても説得力があります。小学校に実習に行く際には、資料を揃えてくれたり、授業の進め方をアドバイスしてくれたり、親身に指導して下さいます。

濱崎 由貴菜さん
健康栄養学部管理栄養学科4年
(宮崎・都城泉ヶ丘高校出身)

大好きな先生は みんなのお母さん

先生はいつも私たちの体調や勉強面を気にかけてくれます。おしゃれて小物使いも上手で、お手本にしています。ファッションや料理の話など、何でも話せる先生は私たちみんなのお母さんみたいな存在です。

迫分 彩さん
健康栄養学部管理栄養学科4年
(宮崎・宮崎南高校出身)

黒木 瑞穂さん
健康栄養学部
管理栄養学科4年
(宮崎・日向学院高校出身)

ゼミでこんなことを
やっています。

田上ゼミでは、栄養教育を実際の現場でどのように行うかについて学んでいます。今年は、清武小学校の家庭クラブに行き、手作りの食育カルタなどを使って、4年生から6年生までの学年の違う子供たちと遊びながら食に興味を持たせる実習を行っています。また、子供の食育を通して、親の食への関心を高めることも目指しています。

先生の部屋で

こんなモノ見つけ!

◎趣味の木彫り

「土曜日は木彫りの日」と決めているという田上先生。きっかけは、ずいぶん前に、何か自分の趣味を見つけようと思案していたところ、ふと思い出したのが、小学生の時彫った菊の作品をほめられたこと、だったとか。それから始めて15年以上、今では研究室にはプロ級の木彫りの作品がいっぱい。



◎心を伝える絵手紙

先生のレターセットの中に見つけた絵手紙帳。暇を見つけては、大好きな花をスケッチ、水彩で彩色して描きためておくとのこと。「これがあれば、お礼状を出したいときもすぐ出せるでしょう?」。周りの方への気配りを忘れない先生らしい心遣いです。



◎母の日のカーネーション

母の日に学生たちが贈ってくれたカーネーション。「のりこママ」へのメッセージに学生たちの思いがいっぱい詰まっています。みんなの気持ちが嬉しくて、ちょっと枯れかけてきても捨てられないのだから。

